

# 数学1学年の学習

狭山市立入間野中学校

## ■ 学習の目標

- ①計算力を身につけ、物事を素早く正確に表現・処理する力をつける。
- ②文字を使うことの良いところを知り、方程式を解けるようにする。またそれ利用することの良いところを知り、実際に活用できるようにする。
- ③図形について様々な知識・性質を身につける。
- ④物事を式・グラフ・表・図形などを使って表し、課題解決に役立てるようにする。
- ⑤順序だてて考える力や、いろいろな見方・考え方を身につける。

## ■ 1学年の目標

- ①数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深めよう。
- ②文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解し、数量などの関係や法則を一般的にまた簡単に表現し、処理できるようにしよう。
- ③平面図形や空間図形についての観察、操作や実験を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深め、論理的に考える力を培おう。
- ④具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し考える力を培おう。
- ⑤目的に応じて資料を収集・整理して、その資料の傾向を読み取る能力を培おう。

## ■ 評価の方法

次の4つの項目で観点別に評価し、総合的な評価をします。

### ①関心・意欲・態度

- ・数学に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいるか。
- ・授業の約束をきちんと守ることができているか。
- ・提出物（ノート、ワーク、レポートなど）の期限を守り、きちんとできているか。

### ②見方・考え方

- ・身近なことを数学的に考えることができるか。
- ・自分の考えをしっかりと持ち、自分の言葉でまとめることや振り返ることができるか。

### ③技能

- ・計算などの数量に関する問題を解くことができるか。
- ・図形などを数学的に表現することができるか。

### ④知識・理解

- ・数や図形などの基本的な用語や公式、計算方法などを身につけており、活用することができるか。

提出物と授業中の態度、挙手、発言、作業などをもとに評価します。

定期テスト、小テスト、確認テストや授業中の解答の様子をもとに評価します。

## ■ 授業の約束

### (1)授業の約束

- ①先生や発表者の話を聞くときは、話をする人の方に体を向け、話し手を見る。
- ②発表するとき（指名されたとき）は、みんなに聞こえる声で話す。
- ③問題を解いたり、作業するときは私語をせず、集中する。

### (2)ノートの取り方（ノートはA4判の大学ノート類を使用）

- ①黒板に書いたことはすべて書く。
- ②余白をつくる。（後で気づいたことなどを記入出来るように）
- ③色ペン、絵、図、表などを工夫して書く。
- ④問題は必ず書く。（教科書、ワークの問題は、ページと番号でもよい）
- ⑤授業プリントはノートに貼る。重ねない。折らない。
- ⑥表に、必ずクラス、番号、名前を書く。
- ⑦ノートやワークを回収したときは、数学係が指定された場所に運ぶ。